

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
必修	2 単位	基礎演習 I	山口 憲二	1 年次	春

授業のキーワード	コミュニケーション能力
授業の概要	書物を読み、考え、まとめ、発表し、議論するという活動を通じて、大学生の基本スキルをトレーニングする。また日本漢字能力検定(漢検)の合格を目指し、そのための学習も行います。単に漢字を「読む」「書く」という知識だけではなく、漢字の意味を理解し、文章の中で適切に使える能力を養います。
期待される学習成果(目標)	毎回全員が発言することを求める。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	オリエンテーション	ゼミの進め方、自己紹介	第 9 講	第 5 章 芸術とキャリアデザイン (OUTPUT2)	全員が前回の範囲からレポートを提出し、口頭発表し、教員がコメントを行う。
第 2 講	第 1 章 コミュニケーション能力とは何か	当該内容について、テキストの記述を 100%理解するため、質疑応答を行い、教員が補足説明とコメントを行う。	第 10 講	合同ゼミ	第 2 章～第 4 章のいずれか 1 章について、レポートを作成し発表する。
第 3 講	合同ゼミ		第 11 講	レポート発表 (1)	第 2 章～第 4 章のいずれか 1 章について、レポートを作成し発表する。
第 4 講	第 1 章 キャリアデザイン論へのアプローチ (OUTPUT1)	全員が前回の範囲からレポートを提出し、口頭発表し、教員がコメントを行う。	第 12 講	レポート発表 (2)	第 7 章～第 9 章のいずれか 1 章について、レポートを作成し発表する。
第 5 講	第 5 章 芸術とキャリアデザイン (INPUT1)	当該内容について、テキストの記述を 100%理解するため、質疑応答を行い、教員が補足説明とコメントを行う。	第 13 講	合同ゼミ	
第 6 講	合同ゼミ	当該内容について、テキストの記述を 100%理解するため、質疑応答を行い、教員が補足説明とコメントを行う。	第 14 講	補足講義	第 10 章～第 12 章のキャリア事例について教員による講義とその感想についてディスカッション
第 7 講	第 5 章 芸術とキャリアデザイン (INPUT2)	当該内容について、テキストの記述を 100%理解するため、質疑応答を行い、教員が補足説明とコメントを行う。	第 15 講	まとめ	まとめのレポート提出と発表
第 8 講	第 5 章 芸術とキャリアデザイン (OUTPUT1)	全員が前回の範囲からレポートを提出し、口頭発表し、教員がコメントを行う。	定期試験		
評価方法	レポート 50%、毎時間の発言等ゼミへの貢献 50%。なお卒業時まで「漢検」に合格することが「基礎演習 I」の成績評価の前提となります。評価方法の詳細は、初回の授業や「合同ゼミ」において説明します。ただし、すでに日本漢字能力検定 3 級以上を取得している人はこの限りではありません。(要証明書)。				
使用する教科書(必ず購入してください)			参 考 文 献		
平田オリザ『わかりあえないことから コミュニケーション能力とは何か』講談社現代新書 指定された漢字検定テキスト(3 級以上の各自が目指す級のもの)					